Amazon Managed Service for Grafana (AMG) Workshop

2021/10/07

シニアエバンジェリスト 亀田治伸

[認証のセットアップ]

AMG はスタンドアロンの ID/Password 認証をサポートしておらず、Idp を利用した SAML 認証か AWS SSO を用いることになります。このワークショップでは AWS SSO を 用います。AWS SSO は、AWS 上でアイデンティティを作成、または接続し、AWS 組織 全体のアクセスを一元的に管理するものです。自分の AWS アカウントやクラウドアプリケーションだけのアクセスを管理することも可能です。ユーザー ID は、AWS SSO で直接作成することもできますし、Microsoft アクティブディレクトリや、Okta Universal Directory や Azure AD などの標準ベースの ID プロバイダーから持ってくることもできます。

AWS SSO を AWS アカウントで設定するためには、AWS Organizations との連携が必須です。AWS Organizations は、AWS リソースの増加やスケーリングに合わせて、環境を一元的に管理し、統制を実現するサービスです。AWS Organizations を使って、新しい AWS アカウントを作成しリソースを割り当てたり、アカウントをグループ化してワークフローを整理したり、ガバナンスのためにアカウントまたはグループにポリシーを適用したり、すべてのアカウントに単一の支払い方法を利用することで請求を簡素化したりできるようになります。

既に AWS Organization で管理されている AWS アカウントで本ワークショップを行う場合、AWS SSO を利用する権限が付与されている必要がありますので注意してください。

1. AWS SSO のマネージメントコンソールに移動します



AWS Single Sign-On (SSO)

AWS Single Sign-On is a cloud service that makes it easy to manage SSO access to multiple AWS accounts and business applications.

Enable AWS SSO

When you enable AWS SSO, you allow it to create IAM roles for each AWS account in your AWS organization.

You also allow other AWS accounts within your organization to assign applications access to AWS SSO users. Learn more

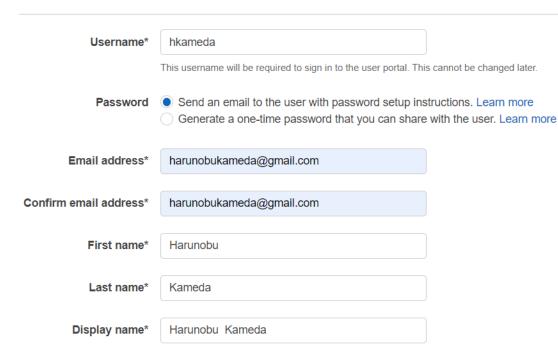
2. [Enable AWS SSO]のボタンをおします。AWS アカウント上で Organization がまだ有

効化されていない場合、Organization を有効化する指示が出ますが、画面に従って有効化してください。

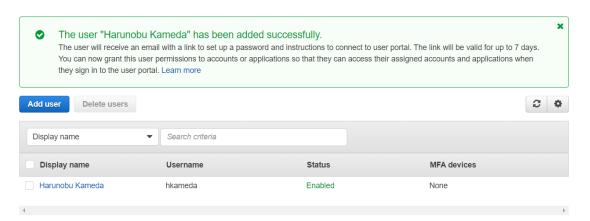
3. 左のペインから[Users]をクリックします

Dashboard	
AWS accounts	
Applications	
Users	
Users Groups	

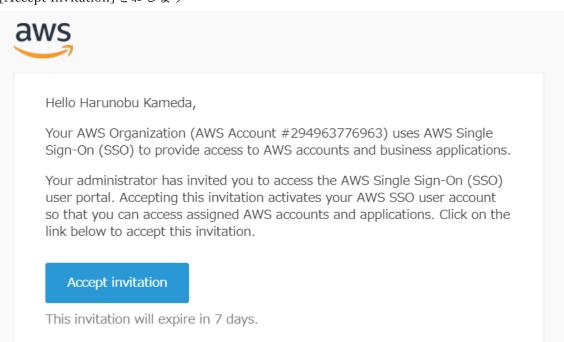
- 4. [Add user]をおします
- 5. 以下のように情報を入力し[Next:Groups]ボタンをおします。AWS の管理者と同じメールアドレスでも可能ですが、ややこしくなるので可能であれば別のメールアドレスをお勧めします。



- 6. グループの設定は行わず、そのまま[Add user]ボタンをおします
- 7. ユーザーが作成されたら、登録したメールあてにパスワード初期設定を促すメールが届いていますので確認をします



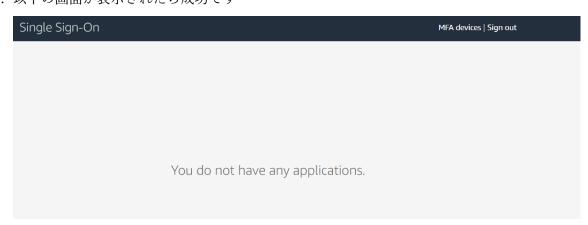
8. [Accept Invitation]をおします



9. パスワードを設定します



- 10. テストでログインしてみます。ユーザー名はメールアドレスではなく、SSO マネージ メントコンソールで表示されるユーザー名なので注意してください。
- 11. 以下の画面が表示されたら成功です

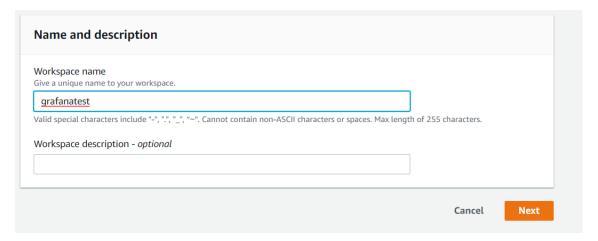


[AMG の起動]

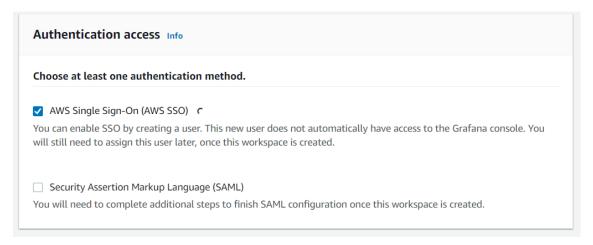
12. AMG のマネージメントコンソールに移動します



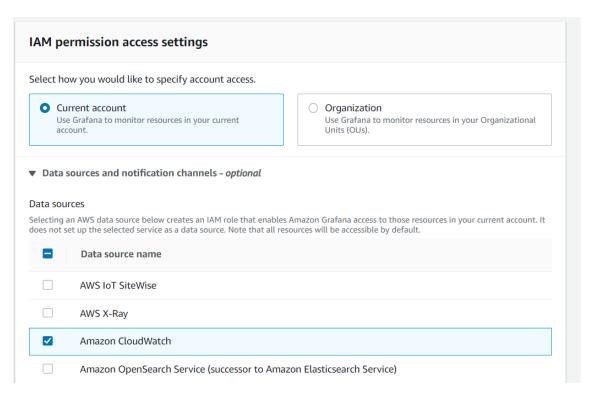
- 13. [Create Workspace] ボタンをおします
- 14. 適当な名前を入力し[Next]をおします



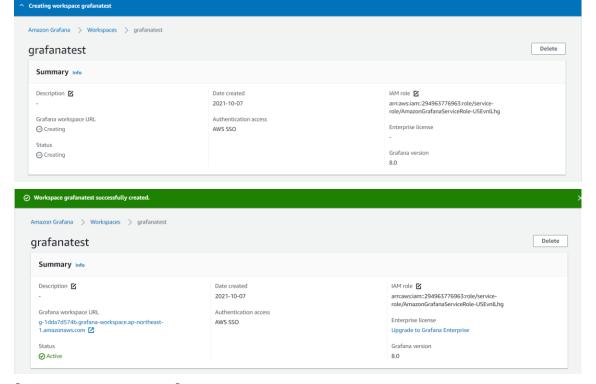
15. SSO の利用にチェックをつけます



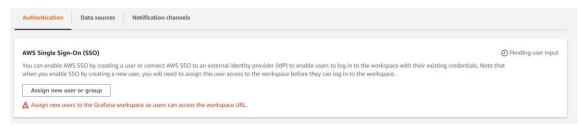
- 16. [Permission type]はそのままで[Next]をおします
- 17. [Current account]を選び、Data Source は[Amazon CloudWatch]を選びます。画面に表示されているその他サービスをご利用の場合は、選んでいただいても大丈夫です。



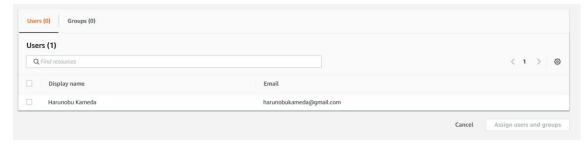
- 18. [Next]をおします
- 19. 最後に[Create Workspace]をおします
- 20. 構築中のステータスになりますので数分間待ちます



21. [Assign new user or group]をおします



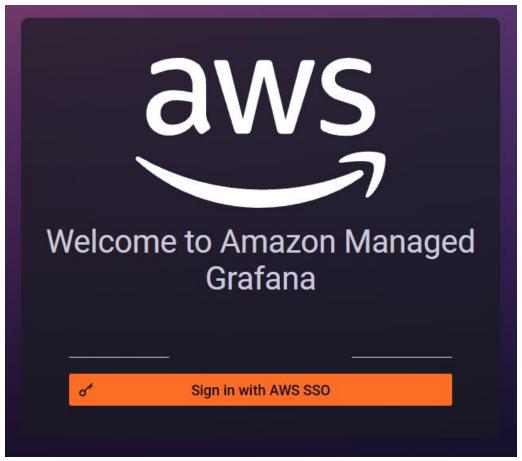
22. SSO のユーザーが表示されていますので先程作成したユーザーを選んで[Assign users and groups]をおします



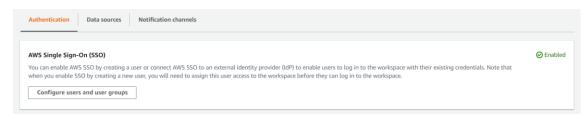
23. 作成した Workspace の詳細画面に遷移し、URL をクリックします



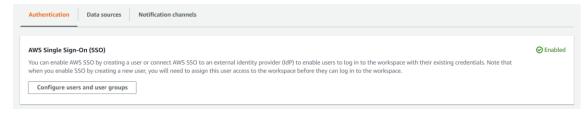
24. ログインをおこないます



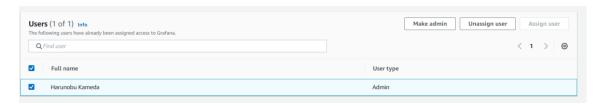
25. ログインができたら、一度ブラウザを閉じて、再度 Grafana の Workspace 詳細画面から、[Configure users and user groups]をおして、Admin に昇格させます



26. ユーザーを選んで、[Make admin] ボタンをおします



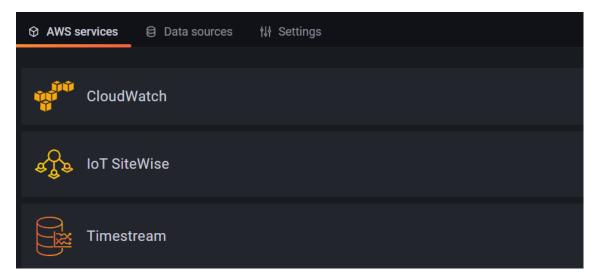
27. [User Type]が Viewer から Admin に変更になったら完了です



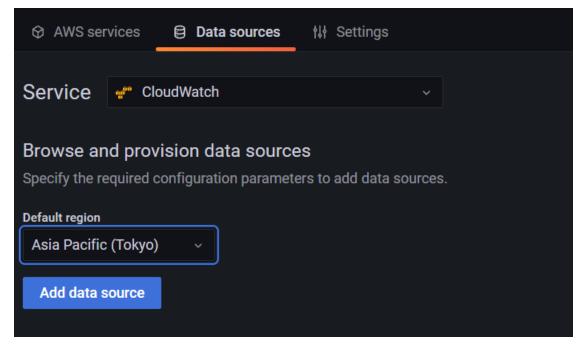
28. 今度は Grafana の左ペインから、AWS アイコンが確認できます



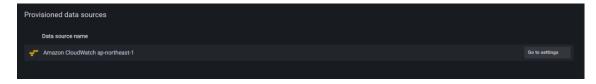
29. AWS アイコンをクリックして、[CloudWatch]をクリックします



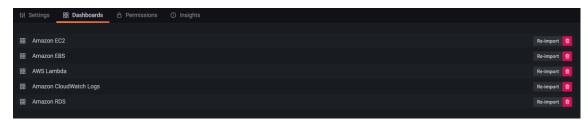
30. 作業中のリージョンを選んで[Add data source]をおします



31. [Go to settings]をおします



32. [Dashboards]タブを選んで、画面右の[import]をおします



33. EC2 や EBS をクリックすると Dashboard が出てきます

